

みのりプロジェクト推進事業

「みのり」とは…

山元町のいちごやりんごなど豊かな実りと子どもたちの成長を重ね、未来ある子どもたちを豊かに伸ばす。
未来の「み」
すこやかに伸ばすの「の」
知性がキラリの「り」

目的:夢や志をもち、その実現に向けて自ら学び、自ら考え行動し、たくましく社会を生き抜く児童生徒を育成するため、町内全小・中学校の教育活動の充実を図る。
被災した本町の子どもたちが、被災に負けず、将来に向けたくましく生きて行けるようにという願いを込めている。

山元の子どものよさを生かす

- 落ち着いて前向きに学習に取り組む児童・生徒が多い。
- 思いやりがあり、素直である。
- 各種の運動に積極的に取り組んでいる。

推進会議

校長会を中心に、町の教育の方向性や取り組むべき課題について協議

中学校再編・魅力ある中学校づくり

教育振興基本計画の改訂

コミュニティ・スクールの推進

知育部会

「分かる授業」の構築

「自力思考をもとにした意見交流」「自主学习ノートのすすめ」

標準学力調査活用

連携サポート事業による授業改善

9年間で身に付けさせたい資質能力を明確にした

教育課程編成

大学との連携による研修の実施

幼・保・小連携、小小連携、小中連携の推進

「3つの約束」の充実

自律した生活習慣の指導
基本的な生活習慣の指導

行きたくなる学校づくり

いじめ・不登校対策推進

日常的な体力づくりの取組

道徳教育の充実

健康指導・食育指導

保護者との連携

- ・小・中(町P連)
- ・幼稚園・保育所

徳育部会

体育部会

地域との連携

- ・コミュニティ・スクール
- ※令和2年度以降設置

大学との連携

- ・宮教大・仙台大
- ・尚絅学院大

※「山元の子ども(中学生) 3つの約束」……「規則正しい生活」「家庭学習」「ゲーム・スマホなど」についての3つの約束により、学力の向上と自分の夢の実現を目指している。